

埼玉県・秩父



自然を感じ、チームワークを育むラフティング

埼玉県の秩父地域は、首都圏から80キロ圏域にあり、日本三大曳山祭りにある「秩父夜祭」に代表される歴史や伝統文化、素晴らしい自然、また、人情にあふれた地域です。

歴史の教科書の中で「和同開珎」一秩父ず、近い田舎として人気事件」など有名な、地が高まっている観光地です。

その秩父地域を「秩父」を感じられる田舎料理を「民泊」は、約200軒 一緒に作り、食事や畑仕事

デルにもなり、学校関係では全国の卒業式で一番歌われている『旅立ちの日に』の発祥の地でもあります。

都心から近く風光明媚な自然もあり、観光要素も多くある地域です。

現在、若者男女問わず、近い田舎として人気が高まっている観光地です。

親密なコミュニケーションを図ります。

また、季節によっては、学校、クラス単位で、東京の貴重な水資源となつて荒川を活用した川下りラフティング、また、自然の中でアドベンチャー体験

近約90分、首都圏、関越道経田「花園」下り、国道14号沿い、本百観音霊場である「秩父丸所34ヶ寺」で行われる手線池駅から西武鉄道の特色「レッドアロー」(全席指定)で西武秩父駅まで約80分、都心から約300人まで受け入れ可能な民泊です。

〒368-0033 埼玉県秩父市野坂町1-16-15
TEL 0494-26-6260 FAX 0494-26-7331
E-mail: info@chichibu-omotenashi.com
URL http://www.chichibu-omotenashi.com/



秩父のシンボル・武甲山と芝桜が咲く羊山公園



荒川の川下り



秩父丸所34ヶ寺での座禅体験

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社

新潟県・上越市・十日町市



ホームステイ先の家庭でのサツマイモ掘り

越後田舎体験事業で生徒たちを受け入れ始めてから17年が過ぎました。

私たちが地域では、民泊(ホームステイ)の受け入れを行っています。民泊(ホームステイ)の受け入れを行っています。民泊(ホームステイ)の受け入れを行っています。

「テーマはつなぐ」

人と人、自然と人のつながり

自然への配慮、人への思いやり、生きるとの大切さを短い時間の中で伝えていきます。

各地域で、越後田舎体験で来ては受け入れのための研修を3年前から、日本一の信濃川のラフティング、川「信濃川」でのラフティングが体験できるようになり、地域の連携を図る、割と心の豊かさを伝えた

越後田舎体験の特徴

①日本海の長い海岸線と、米どころ新潟の広い平野、そして棚田やブナ林があるエリアを持つ越後田舎体験のエリアは、自然・環境・歴史民俗学習の適地です。

②あらゆる体験プログラムと土地の人がインストラクターとして関わります。

③企画コーディネート(手配、連絡、調整、精算)は協議会事務局で承ります。

④広域で仲間が連携、協力して受け入れを行います。

〒942-0411 新潟県上越市安塚区安塚722-3
雪だるま財団内
TEL 025-592-3988 FAX 025-592-3324
E-mail taiken@yukidaruma.or.jp
http://www.echigo-inakataiken.jp/



手植えでの田植え体験



ラフティング体験



雪中貯蔵施設(雪室)

越後田舎体験推進協議会
通常営業時間 8:30~17:30(月~金、祭日・年末年始等休み) ※時間外でも電話しててください

主権者教育は体験・交流による

滋賀県・近江日野



受け入れ家庭と共同調理で「食」を学ぶ

三方よし！近江日野！訪れる人々に心から長時間の滞在を深まる交流体験推進協議会は、平成27年5月、新たに「一般社団法人近江日野交流ネットワーク」を設立しました。

私たちが、日野町は、「売の手よし、買の手よし、世間よし」の「三方よし」の精神で、常に社会貢献の心を忘れず、商いに精通した近江日野商人の精神で、近江商人の精神に、迎えるものに自信と誇りの回復を

農山村での心高まる体験型交流を

三方よし！近江日野田舎体験

古都の歴史文化学習と滞在を通じた交流の両立

の共通、共同の体験による、心の交流が深まり、受け入れ家庭ごとにさまざまな体験プログラムを用意し組み合わせる。1軒4人を基

感動いっぱいのお別れ

本として、連泊も可能です。京都、奈良、名古屋、から約1時間半、各高層ビルから京都、奈良の歴史文化学習との両立、新幹線から約30分、インターからも約30分、ランは、数多くの学校の皆さんにご支持いただいています。

今年で教育旅行の受け入れを始めて8年目となります。安全安心、そして、教育効果の高い受け入れに向けて地域一丸となって取り組んでいます。

自然の恵みへの感謝、人と自然の関わり、人と人の絆を大切に生かす近江日野の人々の体験交流を通して、心の豊かさや生きる力を育む教育旅行をともに作り上げたいと考えています。皆さまのお越しをお待ちしています。



農村の営みそのまま体験



最後は受け入れ家庭全員と握手でお別れ

一般社団法人 近江日野交流ネットワーク
(日野町商工観光課内)
担当：中森雅之・西河佳子 行政支援：日野町商工観光課 福本修一・寺本昌弘

〒529-1602 滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
TEL 0748-52-6562 FAX 0748-52-2043
E-mail inakataiken@omi-hino.jp
URL http://www.omi-hino.jp

福井県・若狭美浜



ボート体験を通じて信頼し合う心を育む

福井県若狭美浜町は、日本海の豊かな漁場を目の前にした「漁村」ラ、ムサール条約に認定された三方五湖の「湖村」、大自然と共生する農村が混在する一方、車で30分までまるごと体験できるほどの小さな地域の魅力が体験できる。また交通の面でも修学旅行の定番京都をはじめとする関西圏や北陸新幹線が開通した人気のある金沢からも共に、車で2時間弱の好立地でもあり

小さな農林漁村・湖村で育む「たくましく生きる心」

体験

「美浜の家族」と「体験者」がはじめはぎこちなく、互いに遠慮し合うことから始まるプログラム。一緒に地元のお店を使い、夕食を作って食べる。何となく「家族」になれ、翌日別の時には「一本当の家族」となるのです。

この民泊体験では人の温かさ、自分を応援してくれる気持ちを肌で感じ、自分の存在価値を再確認し、自分も高まりたい

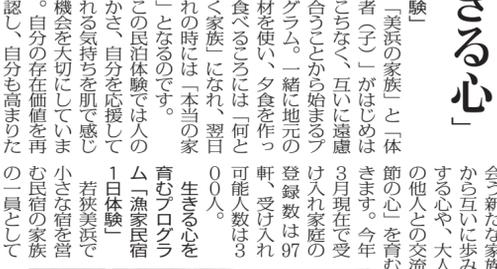
湖を漕ぎ進むボート体験

1日目のお昼から翌日の宿まで、実際の漁家民泊の活動を体験できる新プログラム。配膳や掃除など日常生活に役立つ知恵や小さいながらもお客様を温かく迎えてきた女将の接客術を学びます。

また漁家民泊ならではの新鮮な魚介の扱い方、おいしい食べ方も伝授されています。地方の漁村のしきたりや文化も肌で感じる事ができる魅力あるプログラムです。リアルな現場を一緒に体験することから互いに歩みよる心や、大人や異年齢の他人との交流から「礼く生きていく心」を育みます。



人と人のつながり、礼節を学ぶ民泊体験



若狭美浜はあつふる体験推進協議会

若狭美浜はあつふる体験推進協議会
NPO法人 はあつふる美浜ネットワーク
担当：事務局 林正人(携帯電話090-8967-9471)

〒919-1131 福井県三方郡美浜町木野21-4-1
(観光工房内)
TEL 0770-32-2222 FAX 0770-32-6667
E-mail: tabikobo-hayashi@air.ocn.ne.jp